権利としての社会福祉を守る全国の社会福祉法人のみなさん! 分野と地域をこえて手をつなぎましょう!



-般社団法人 社会福祉経営全国会議

第5期管理職養成学校ニュース

連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-5-6-902 2025年10月15日発行電話 06-6772-1360 Fax 06-6772-1376 e-mail jimukyoku1@f-zenkoku.net

Vol.2



第1講座~本格的な航海の始まり~

9月25日(木)第1講座が開講。まずは養成学校の恒例ともなったアイスブレイクからスタートしました。緊張気味の受講生の皆さん、大きな声を出して緊張をほぐすことと、パソコン環境の確認のため、今回のアイスブレイクのテーマは「人生の1曲」もしくは「好きな1曲」です。最近の曲から『渋いね~その曲!』まで24名様々な名曲がでて少しリラックスできたところで講座が始まりました。

【第1講座のねらい】

- ①管理職に求められるものを講演とグループワークを通じて共有する
- ②自分自身を客観的に分析し、現職場や法人の中の管理職としてどのような役割を担っているか、課題は何かを認識し、どう変化していきたいかを明確にする
- ③管理職として必要である「わかりやすく伝える」「理解を促す」トレーニングとする
- ④社会福祉経営全国会議の会員である管理職の、地域、法人、分野を超えた交流の場とする

プレゼンテーマ「管理職としての私を語る」

今回のテーマは**「管理職としての私を語る」、 発表時間は3分**です。

それぞれの受講生は、自分のことを客観的に分析し、管理職として果たすべき役割や課題、自身の強みや弱みを踏まえながら、「今後どう変わっていきたいか」を織り交ぜて発表しました。

原稿を見ずに語るスタイルで、開校式から約1か月の間に、各ゼミで何度も自主ゼミを行い、推薦者や同僚の前で予行練習を重ねてきた成果が表れました。

その結果、ほとんどの受講生が3分間の持ち時間で堂々と発表を終えることができ、自分と向き合い、分析し、成長への糸口を見つけられたプレゼンテーションとなりました。

垣内先生の講評では、「管理職になると、何かをやろうとしたときについ結果を先に考えてしまうものです。『失敗するのではないか』『うまくいかないのではないか』『あの人が何か言ってくるのではないか』と、誰もが不安を感じるものです」と語られました。

そのうえで、「現場には山のような課題があり、すぐには解決できないことも多い。けれども、時間をかけて、あるいは少し時間をおいて向き合うことで、すべては無理でも少しずつ前に進める。大切なのは"粘り強く""めげずに"取り組み続ける姿勢です」と続けられました。

最後に、「皆さんがそれぞれの現場で真摯に向き合っている姿に、心 を打たれました」と、受講生の努力を称えられました。



今月の舞台裏 社会福祉法人ふたかみ福祉会 関口奈緒美

大阪の社会福祉経営者同友会時代に管理職養成学校を受講し、その後、事務局の一員として長く関わっています。毎年、受講生の皆さんから多くの刺激をいただきながら、個性豊かな事務局メンバーとともに活動しています。毎月の事務局会議(Zoom)では笑いも交えつつ、意見をしっかり交わし合う場となっており、学校全体がより活性化していることを実感しています。

今年の養成学校はまだ始まったばかり。これからどんな面白い話題や発見が生まれてくるのか、受講生の皆さんと一緒に楽しみにしています!





「揺らぎながらも前へ――管理職に求められる7つの力」

第1講座では、垣内先生が「自法人の経営危機」をきっかけに、これまで の経験を交えながらお話しくださいました。

講義の冒頭では、「社会福祉法人は誰のものなのか?」という問いが投げかけられました。「それは理事長のものでも職員のものでもなく、"みんなのもの""地域住民のもの"である」と力強く語られ、その言葉は社会福祉の公益性を象徴するものとして深く心に響きました。

続いて、「民主的経営」や「管理者のあるべき姿」にも言及がありました。善意と情熱だけでなく、科学的根拠に基づく冷静な判断が求められる。そのために私たちは"クールヘッド&ウォームハート" ——冷静な頭脳と温かい心で仕事に臨む必要があると語られました。管理監督者に求められる力として、「組織を高める力」「考える力」「提案し動かす力」「外に広げる力」「任せるカ」「人としての器量」「後継者を育てる力」の7つが示されました。

講義の終盤では、垣内先生おすすめの3冊を実際に会場へ持参し、解説を交えて紹介してくださいました。また、先生の提案で2回のグループワークが行われ、受講生たちは講義を通して感じた疑問や深めたいテーマを出し合いました。垣内先生が各ゼミに入り、直接意見を交わしてくださったこともあり、「管理者としての能力は獲得できる!」という実感を得たという声が多く聞かれました。受講後は、「管理職としてどうあるべきかを考えるきっかけになった」「半年間頑張る気持ちが湧いてきた」との感想が多く寄せられ、"揺らぎながらでいい"と感じられる温かい締めくくりの講義となりました。

垣内先生の温かいお人柄と受講生への真摯な思いにあふれ、学びと笑顔に包まれた第1講座となりました。



<垣内先生推薦図書>

- *ヴィクトール・E・フランクル 池田香代子訳『夜と霧(新版)』2002 みすず書房
- *藤井常文『福祉の国を創った男-留岡幸助の生涯』1992年 京都法政出版
- * P.F.ドラッカー『非営利組織の経営(ドラッカー名著集4)』2007 年 ダイヤモンド社

講座の最後は、第2講座に向けての課題に加え、第3講座と第4講座の説明もあり、ホッと一息つく間もなく次の講座に向けて走り出しました。

今回は時間通りに進み、最後に各ゼミ約20分のゼミ交流もでき、全員で進んでいこう!と確認しあい1日を終えました。まだまだ続く管理職養成学校、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



次回:第2講座

「社会福祉法人の在り方を学ぶ」

2025年10月23日(木)

講師:社会福祉経営全国会議 茨木範宏会長

自法人の「経営理念」、「自法人(自施設)が地域で果たしている役割」について地域の皆さんを 想定したプレゼンを行います。

